

50 602

教科書文庫

6
720
45-1950
2000 3 01632



3759
M014
資料室

著作教科書

習字

中習 700



395.9

M014

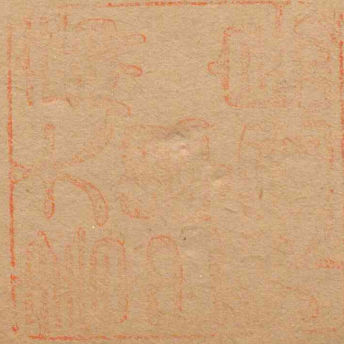
目次

一、	名まえを書く	二
二、	ノートの表紙など	四
三、	学級自治会	八
四、	実行して、こうとすること	十二
五、	かべ新聞	十四
六、	製作品展示会	十六
七、	書きぞめ	二十
八、	標語	二十四
九、	書道展示会	二十六
十、	新入生を迎える	三十

二
四
八
十二
十四
十八
二十
二十五
三十

資料室

習字一



文部省

一名まをを書く

新「本新」ノトに筆で字や名まを
を書いた。また持ち物や道具も筆で名
まをを書いたほうがよ、とあも多、と思つた。

本町中学校二年二組

西原進吉

本町中学校二年二組

西原進吉

○ペニで書いた文字と筆で書いた文字を
くらべて、その得失を考えてみよう。

下
大
中

下田白石高木
大山小川上村
中学校一年組

石田
下石
た。

石田
。

二、ノートの表紙など

ノートや本の表紙は、文字のよけずへたしては、だが、文字の大きさや位置のよけがたもゆるがせにできない。

昭和二十四年四月十五日

國語科

本野中学校二年二組
佐山太郎

理科
林先生

244/13

1年A組

井上光二

。書物の表紙やらびらの文字について、大きさや書体、位置などを研究してみよう。

工。理。國

國語 社会 数学

理科 音楽 家庭

工作 農業 水産

たが
下まな

井上光二

大井上

^六
 学級日記・観察日記などの日記類とか文集
 会議記録・参考書類つりなどの表紙も筆で
 書いた。文集の目次も筆で書いてみた。

文集若草 第三号
 本町中学校二年三組

文集若草 第三号

目次

一	朝のうた	一
二	花を育てる	四
三	読書日記	八
四	博物館見学記	十五

文
 実
 新

文集
筆記
みた。

第三号

記

一四八五

文集觀察日記
實驗經過報告
新聞圖書台帳

ハ

三学級自治会

学級自治会がある。会の順序や協議事項
と書いてほり出した。

学級自治会順序

- 一 開 会
- 一 議 長 選 挙
- 一 協 議
- 一 閉 会

学
議
原

學級自治委員
議長選舉投票
原案進行決定

+

学級自治会の申し合わせ事項を筆で書いてかべにかけておいた。人を書きながらかなもよく習っておく必要を感じた。

学級自治会申し合わせ

- 一 ちこくは絶対に「ないよう」にしよう。
- 一 持ち物にかならず名まえをつけておこう。
- 一 こまごまつかいを正しくしよう。
- 一 紙くずを落さないうようにしよう。落しているのを見たら、すぐ拾おう。

ち
よ
ら

下筆
た。なから

い。
お。

落
う。

らむ
ちりぬるをわか
よたれそつねな
らむはにほいせ

四、実行して「三つ」を思うこと

自分の心から実行して「三つ」を思うこと
 を書いて、こちらのかへにはいておいた。

- 一、わずかの時間でも生かして使う。
- 一、学習は自分でよく計画を立ててする。
- 一、ハンカチやくしなどを自分であらう。
- 一、毎日勉強のあとで二十分ずつ習字のけいこをする。
- 一、四つの弟のことはを記録しておく。

う
け
た
し

うわのちくやま
 けふにえあま
 まゆめみしん
 七世せん

へん
 した。
 する。
 字
 へん

五、かぜ新聞

十月三日 第七号 本町中学校

迎ぐ 秋季運動会

十月十六日(日)

天高く運動の好季節——
 待望の秋季運動会を二週間の
 後にひかえて、今や各部とも最後の
 猛練習にいらした。百メートルの高山くん
 やり投げの松本くん、走り高とびの
 森さん、砲丸投げの花村くん、いずれも
 好調で、きつと新記録を出して
 みせると、はりきっている。

ラエスの全校トーナメントは、いよいよ
 来週から始まり、運動会までに
 準々決勝を終え、予定がある。



もみぢのノート

みなさんは、これから秋の遠足
 にかけてのこともあるでしょう。
 近くの公園やお寺の庭遊に
 に行くことも あるでしょう。
 すると、かえりや、ちぎりや、かきや
 いろいろな美しい色をした枯れ
 葉が風のままにくま、落ちて
 来ます。それらの美しい葉を
 できるだけ多く集めましょう。
 集まったら、えんどう、ろうか
 パラフィンをおびかんの中に熱く
 とかかります。よとけから葉のものと
 をとまん下とけたパラフィンの中に

- 一 元
- 二 成
- 三 春
- 四 天
- 五 雷
- 六 こ
- 七 秋

葉
 人
 7
 ま

にこそいふこと（八中）かゝるは

七 秋
六 冬
五 春
四 天
三 春
二 成
一 元

葉のしとをつま
んでとけたら
アノの中に入れ
ますそれから新

入れます。それから新聞紙の上に取り出してかわかすともみじの標本がでえます。こゝで注意しなければならぬことは、パフフィンがこくろすく葉の表面につくように手早くすることです。できたら紙をシートにつすつていれにけらふみます。そしてその下に「ちようとか、かえぐとか、草や木の種類を書き入れます。また採集した場所とか、日づけとかもわすれずに書き入れておきましよう。こゝもみじのシートは、やがて、きつとみなさんのたからものにならんとしよう。

- 八 文化の日—十月三日
(自由と平和を愛し、文化をすすめる。)
- 九 勤労感謝の日—十月二十三日
(勤労をたどび生産を祝い、國民たがいに感謝—あり。)



笑話

弟が祖母のときちへみかんを一箱もっていった。
 祖母「ありがとう。それでみんなまめ(まめ)ぶなとかね。」
 弟「うんみんなみかんだよ。」
 祖母「ほんとにたくさんねありがとう。みんなどうだね。まめかね。」
 弟「うんみんなみかんだら。」

聞
出
と
か
バ

三日
文化
三月三日
塵を祝
あ。 }
みかんを
みんな
かね
んだよ
あが
かね
だだ

聞紙の上に取り
出してかわかす
ともしみの標本
がでます

製作品の展示会
製作品や学習成績品の展示会を開くので、
出品物の説明やポスターを書いた。

第三回生徒製作品展示会

国画 習字 手藝
工作 研究物 その他

時 十一月一日より

十二月三日まで

所 本校三三階教室

ぜひ御來校ください

本町中学校

...
野に
ので
おま
くだ

薬用植物おしぼ

出品者 一年二組有志

ここにあらば「おしぼ」は郷土の山野に自生する薬用植物のおしぼり
のです。効能、服用法を付記しておきますから採集して利用して
ください。

展示会の立札・はし紙・道案内・注意札などを
書いた。

工 作 第 二 室

受 付

入 口

出 口

余 興 場

利
民

品 行 藏

品 亦 展

مونتو

七、書き、始め

書き始めに偉人のことばで自分のすきなものを
逸んで書くことにした。用紙は文の性質やこのみで
半切、三紙、たんがく、その他適当なものを用了。

少年よ大志をいだけ (タラーク)

みづから労してみづから食ふは人生
独立の存源なり (福澤諭吉)

人生おきて学ばざれば生まれがらにおな
(貝原益軒)

新
人
に
君

君子は、礼をおのれ
に求め、小人は、礼を
人に求めむ

新年試筆 西田太郎

なものを
このみで
と用いた。
ワーク
は人生
論志
おな
原益軒

学校や教室をみんなの力でよくするに
 標語を書いておきました。

清潔整理

こちらは静かに
 歩きましょう

日

級

明かろ、教室

樂し、学習

あはれ

九、書道展示会を見て

町の書道展示会を又学んだ。りっぱな作品を
 見ると、筆で書いた文字の美しさがよくわかる。
 参考品の中に、むかしの中華民国の人の法帖
 があって、その文字がらわけりっぱなものに
 見た。あんな字が書けるをいわずね、と先生にお話
 したら、「あのようにすぐれた文字を目あてに
 けい、書るのがもつとよい。」とおっしゃった。それで
 ああ、その法帖の中からやさしい字を抜き
 出して、手本を書いてくださった。

書

目

書

目

青山夕雲新
月清波風雨

青山夕雲新
月清波風雨

な作^ひを
くあかる。
人の法帖^{ほふ}
に尺^はた。
にお話
自^{みづか}あてに
に。そし
を抜^ひき

前のページの「青山夕雲」は秋陽^{あきひる}詢^{のん}の
 九^{きゅう}成^{せい}宮^{みや}に^に豊^{ほう}永^{えい}録^{りく}の文字、次のページのは
 雲^{うん}世^{せい}南^{なん}の「孔子廟^{こうし}登^{とう}士^し碑^ひ」の文字である。
 とともに唐時代のすく水た書家の書いた
 もので、わが國でもう永を手本として
 学ぶものが多く、先生が後明して
 うたされた。

日月天地八方
四海春秋千年

日月天地八方
四海春秋千年

陽詢の
のほ
たあて
の書いた
とて
て

十、新入生を迎える

学年末になつて新入生を迎へる日も近くなつた。ま、よう、みんなが相違して一年生を迎へることはを書いたが、春の詩や歌を書いて、一年生の教室をほりあげ、そのかたにはることにした。みづから組になつて、みづから絵をかき、みづから文字を書いたものもあつた。

希
御
ま
い
し

希望の春

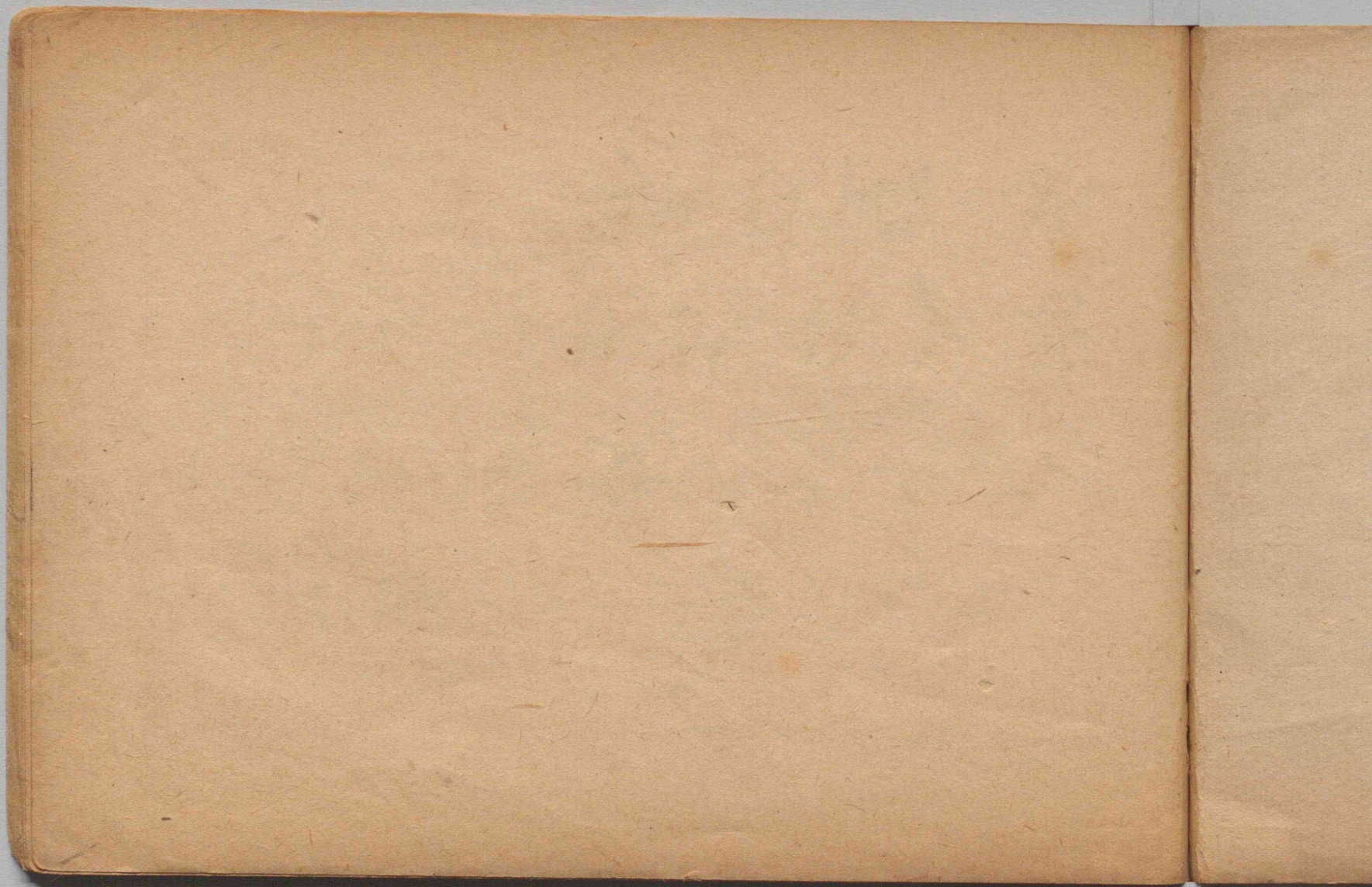
御入学おめでとう

まよーから中学生です

まよーに楽しく学習いた

しまよー

四七近く
一年生を
や歌を
うたを
ひき
いた



中習 700

習 字

(中学校第一学年用)

發 行 所

中等学校教科書株式会社

東京都千代田区神田岩本町三番地

印 刷 者

株式会社中教平版印刷所

東京都千代田区神田岩本町三番地

代表者 仙葉元太郎

發 行 者

中等学校教科書株式会社

東京都千代田区神田岩本町三番地

代表者 阿部眞之助

著 作 權 所 有 者

文 部 省

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE Oct. 24, 1949)

昭和二十四年四月五日 翻刻發行
昭和二十五年二月十四日 再版翻刻印刷
昭和二十五年二月十四日 再版翻刻發行
(昭和二十五年二月十四日 文部省検査済)

昭和25年版 ¥ 8.50

高陽中學一年

Y 8.50